

チャリロト協賛 矢村正杯争奪戦

熊本けいりん
ニュース

熊本競輪〔F1〕 GIRLS KEIRIN



3/20 金・祝・21 土・22 日 電投番号 87#

S級戦展望

今年の矢村正杯争奪戦は防府ウイナーズカップと同時開催のため、1班は10名。特選にシードされそうなのは南関東を代表する自力型、根田空史（千葉）に九州の成長株、後藤大輝（福岡）。中国地区のホープ黒瀬浩太郎（広島）。根田の後ろを主張するのは飯野祐太（福島）、五日市誠（青森）の北日本コンビ。黒瀬にはラインで久米良（徳島）なら、追い込みで転向して柴崎淳（三重）は喜んで後藤の番手。残りの石川裕二（茨城）、湊聖二（徳島）、徳永哲人（熊本）は予選スタートを想定。2班で決勝まで上がって来そうなのは、いわき平記念で決勝に乗った堀江省吾（長野）に南関の暴れん坊、長田龍拳（静岡）。111期在校3位で卒記チャンプの南潤（和歌山）に追い込み型としての地位を築きつつある原井博斗（福岡）に松本秀之慎・佐藤壮志の熊本自力型コンビ。四国のサラブレッド小川三士郎（徳島）に復調、大石崇晴（大阪）。この中から準決を突破して来るはずの根田と後藤は無条件の優勝候補。飯野はいざと成れば自分でやれるので乗ってくるのでは。後藤には予選をクリヤーするであろう先輩原井で、久米良は黒瀬がダメな時は後輩小川三が居るのは有利。残り



根田 空史 選手

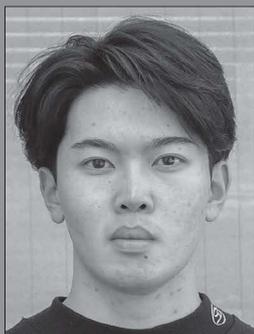


後藤 大輝 選手

2人は捲り兼備の柴崎と乗りに乗りまくってる堀江の7人。後藤には原井の九州コンビ。飯野は特選でも任せてる根田に決まりで、堅実久米は福岡の後ろか、空いてる堀江。そして柴崎は単騎か堀江に。

A級戦展望

127期No.1でナショナルチームに属す尾野翔一（福岡）は2月の大垣・高知を完全Vなら今回が3度目になる特別昇進チャレンジャーの予定、その強さはS級トップクラスと評判、熊本は昨年の新人戦を走り3連勝のバンク。後ろを固めるのは自在、曾我圭佑（熊本）。S級戦で優勝がある林昌幸（愛媛）もここまで特昇決めてなければ尾野に遜色無い自力型。連携するのはS下がり石丸寛之（岡山）。考えた強烈パワーで優勝を量産してる永井哉多（東京）に北のホープ佐々木亮太（青森）、そして来期のS級返り咲きを決める白戸淳太郎（神奈川）は永井を選ぶか佐々木か嬉しい悲鳴。この7人の一角を崩すとすれば、前期のS級は捲り・捌きで結果を残した長屋秀明（岐阜）。



林 昌幸 選手



尾野 翔一 選手

ガールズ展望

ナショナルチームで結果を残し、パリ五輪出場を手に卒業した太田りゆ（埼玉）、昨年は2度の失格でガールズグランプリ出場を逸したが、桁違いのパワーで勝ちに勝ちまくって居り、熊本は初めてでも大丈夫。平塚グランプリ3位の久米詩（静岡）は熊本は3連勝がある得意バンク。順当なら2人のマッチレース。ファンの応援を味方に決勝に駒を進めて来るのは頑張り屋、西島叶子（熊本）。太田瑛美（三重）は自力・自在に前々勝負は魅力。捲り鋭い村田奈穂（熊本）は地の利で。ガールズ創成期の花形スター加瀬加奈子（新潟）。マーク・蛇原杏奈（北海道）も注目。



久米 詩 選手



太田 りゆ 選手

熊本
頑張れ!

級班	選手名	年齢	期別	B K数
S1	徳永哲人	43	100	0
S2	松本秀之慎	23	121	1
S2	佐藤壮志	22	123	2
A1	曾我圭佑	31	113	2
A2	松本大地	48	81	0
A2	田中会心	25	123	10
L1	村田奈穂	34	116	1
L1	西島叶子	31	118	4

S級戦出場予定選手 (成績は1月28日現在)

級班	選手名	年齢	府県	期別	B K数
S1	湊 聖二	49	徳島	86	0
S1	五日市 誠	41	青森	89	0
S1	飯野 祐太	41	福島	90	2
S1	柴崎 淳	39	三重	91	2
S1	根田 空史	37	千葉	94	8
S1	久米 良	38	徳島	96	0
S1	石川 裕二	41	茨城	99	0
S1	徳永 哲人	43	熊本	100	0
S1	後藤 大輝	24	福岡	121	9
S1	黒瀬 浩太郎	26	広島	123	2
S2	佐藤 康紀	51	青森	73	0
S2	鈴木 幸紀	49	三重	78	0
S2	牧 剛央	52	大分	80	0
S2	山口 貴嗣	47	福岡	82	0
S2	片山 智晴	42	岡山	92	0
S2	松尾 信太郎	42	福岡	92	0
S2	平原 啓多	41	埼玉	97	0
S2	稲毛 健太	36	和歌	97	3
S2	黒田 淳	41	岡山	97	0
S2	太刀川 一成	45	千葉	100	0
S2	大石 崇晴	33	大阪	109	0
S2	南 潤	28	和歌	111	7
S2	鈴木 輝大	31	東京	113	0
S2	今野 有樹	28	愛媛	115	0
S2	原井 博斗	30	福岡	115	0
S2	坂本 紘規	29	青森	117	4
S2	長田 龍拳	25	静岡	117	9
S2	林 敬宏	34	愛知	117	6
S2	堀江 省吾	29	長野	119	10
S2	山根 将太	28	岡山	119	0
S2	邊見 光輝	24	福島	119	0
S2	松本 秀之慎	23	熊本	121	1
S2	熊崎 麻人	26	埼玉	123	5
S2	佐藤 壮志	22	熊本	123	2
S2	小川 三士郎	25	徳島	125	5

A級戦主力選手 (成績は1月28日現在)

級班	選手名	年齢	府県	期別	B K数
A1	白戸 淳太郎	52	神奈	74	0
A1	石丸 寛之	51	岡山	76	0
A1	曾我 圭佑	31	熊本	113	2
A1	長屋 秀明	25	岐阜	117	1
A1	林 昌幸	23	愛媛	119	5
A1	永井 哉多	24	東京	121	7
A1	佐々木 亮太	21	青森	125	7
A2	上杉 有弘	24	福井	127	9
A2	尾野 翔一	26	福岡	127	7

ガールズ主力選手 (成績は1月28日現在)

級班	選手名	年齢	府県	期別	B K数
L1	加瀬 加奈子	45	新潟	102	6
L1	太田 りゆ	31	埼玉	112	4
L1	久米 詩	26	静岡	116	3
L1	村田 奈穂	34	熊本	116	1
L1	西島 叶子	31	熊本	118	4
L1	蛭原 杏奈	26	北海	120	0
L1	太田 瑛美	25	三重	120	1
L1	枝光 美奈	28	福岡	124	0
L1	伊藤 柚姫	23	兵庫	128	0

テレビ実況中継予定

3月20日(金・祝)	3月21日(土)	3月22日(日)
スピードチャンネル (10:00 ~ 17:00)		
692CH		
KEIRIN.JP 全レース実況中継		

熊本けいりん公式YouTubeチャンネル



熊本けいりんホームページ



S級戦決め手別1、2着

差し	逃	げ	(26回)
まくり	---	マーク	(24回)
差し	---	差し	(23回)
差し	---	まくり	(18回)
逃げ	---	マーク	(16回)
まくり	---	差し	(11回)
差し	---	マーク	(8回)
逃げ	---	差し	(6回)
まくり	---	まくり	(5回)
まくり	---	逃げ	(3回)
逃げ	---	まくり	(1回)
逃げ	---	逃げ	(0回)

(2025年1月~2026年1月)

バンク情報

◎根田空史 (千葉) 37才94期生

高校時代は同期脇本雄太と鎬を削った懐かしい思い出が。一発で94期に合格、卒業後は支部長中村浩士に弟子入りして現在に至ってるが、能力は南関東でも屈指なのに破壊力満点のパワーをコンスタントに発揮出来ないのは体調以上に精神面かも。ウィナーズカップに出場出来なかったウサは熊本バンクで晴らすと決め仕上げた成果はスケール大きい自力で発揮する。

◎後藤大輝 (福岡) 24才121期生

競輪選手に成ると決め、高校の3年間は競技に打ち込み、エリート揃いの121期に合格。早期退所したナショナルチームのエース太田海也・中野慎詞を目標に強くなるための努力が現在の力に成績。輪界を代表するスター古性優作に見込まれ年に何度も大阪で合宿してるのは必ず報われるものと思われる。熊本は練習では走っていても実戦は初めてだが、狙うは逃げて今年初優勝。

◎飯野祐太 (福島) 41才90期生

異種競技から競輪選手を志す者の手助けをしてプロデビューさせた功労者。それだけでなく、若かりし頃からスター揃いの福島輪界のために死に役を演じ続けたのをやっと回収し始めたのは、数年、それがF I・G IIIの優勝であり特別の出場。だからと言って自力は卒業して居らず何時でも出せる準備はしている。熊本の新バンクは3度目。今回は追い込み主体の自在で優勝を狙う。

◎久米良 (徳島) 38才96期生

同期の出世頭、守澤太志に何かと相談する事で何時の間にか110点近くまで点数上げて特別を経験したが、昨年後半は怪我と体調不良に悩まされ点数落としただけでなく、前に離れる事も多くなったが、そこは雑草で上を目指して頑張ってるのがこの安定した成績。今回は黒瀬浩太郎だけでなく同県の後輩小川三士郎が一緒なので余程の事が無い限り決勝には駒を進めてくる巧者。

◎柴崎淳 (三重) 39才91期生

天性のスピードとレースセンスで91期生としてデビューしてからは出世街道を轟進してたのに、選手生命が危ぶまれる様な落車を1度ならず2度3度と繰り返した後遺症が重度の腰痛と、その他諸々だけど、最低限の練習はしてるので1班をキープ。熊本の高速バンクは脚質マッチで、自力に拘ってないので地域に関係なく空いてる自力型を使って決勝進出に執念。

◎原井博斗 (福岡) 30才115期生

地区プロの4Kmチームパーシュートを2年連続優勝で寛仁親王牌に立て続けに出場したのに昨年は何かからチームから外される不運。それでも1年前の5月武雄で野田源一の後から内抜けてS級初優勝は勲章。失格もあり今回は2班に甘んじてるが追い込み型としての地位は着々と確立して居り、今回は勝ち上がれば後輩後藤大輝が待ってるなら2度目の優勝チャンス。

◎堀江省吾 (長野) 29才119期生

現在は休止中だが千葉250バンクでのP I S T 6は河端朋之(岡山)以上に優勝を重ね、賞金を稼ぐと同時に脚力アップに成功。その気になれば横もやれるが、現在は将来を見据えて、この凄いバック数。記念は準決が壁に成ってたが1月のいわき平記念で突破したのは自信になって居り、次なる目標はS級初Vであれば今回のメンバーならチャンスと思ってるなら予選・準決は勝負。

次回開催案内

- 熊本 FII ミッドナイト 3月29日(日)・30日(月)・31日(火)
- 熊本 FII ミッドナイト 4月4日(土)・5日(日)・6日(月)
- 熊本 FII モーニング 4月14日(火)・15日(水)・16日(木)